



令和5年度 くらら利用者協議会全体会議&交流会 結果報告



登録者数：235 出席者数：135（委任状含む）議案は賛成多数で可決されました！

当日は56名の皆さんにご参加いただきました。開催にご協力いただきありがとうございました。

交流会で寄せられたご意見（一部抜粋）

市民活動室の利用時間変更で利用者が減ってしまうのではないかと / 活動を若い世代へ継承していくことが課題 / なかなか他の団体とヨコでつながれない / 総会以外に他の団体とつながれる機会を作ってほしい / コロナ禍でも小さな集まりを続けてきた / コロナ禍で活動がオンラインになり全国とつながった / オンラインを活用することで改めて対話の大切さに気づいた / コロナ禍で外に出られなくなり、孤独な世代が増えたので元気づけたい / これからは分野を融合して様々なことに取り組みたい / ランダムにグループが分かれたので新しい出会いがあってよかった

くららで話そ！

想いをカタチにして届ける

TOCHICO 日和のまちづくり

～くららスタッフ佐藤とのトークセッション～
子育て世代へ笑顔を広げる情報誌“TOCHICO 日和”の制作、とちぎ蚤の市の企画に取り組む
松本さんの熱い思いを佐藤が深掘りします！

日時：9月25日（月）18：00～19：30

場所：キョクトウとちぎ蔵の街楽習館

1階交流スペース

ゲスト：松本 真由美さん（TOCHICO 日和）

くららのSNS

イベントレポート 協働のまちづくりセミナー 第1回

「水でつながる」流域で考えよう 環境と生態系を大切にす
るための協働～森川里湖海をつなぐ琵琶湖流域の協働から～



Facebook



Twitter



Instagram



くららに来て、みんなで話そ！
参加無料・予約不要・お気軽に！

「くららで話そ！」

報告

第310回 7月25日(火) 16:00~18:00 花粉-食物アレルギー症候群について知ろう！
ゲスト：とちぎアレルギーの会 大森敦子さん

花粉-食物アレルギー症候群をテーマにしたアレルギーについてのお話でした。大森さんは、花粉症由来のアレルギーを持っていて、生の果物や野菜などを食べると口の中がかゆくなってしまいます。花粉-食物アレルギー症候群は、花粉症の人ならだれもがいつでもなる可能性があります。あまり知られていません。

大森さんのお子さんは小麦や卵など複数の食物アレルギーを持っています。その経験から、食物アレルギーの子どもを持つ親向けの交流会を開催しています。今回は、食物アレルギーを持つくらのスタッフが自らの食物アレルギーの体験を語る場面もありました。昔は食べられたそばが食べられなくなってしまった…というように、新たな食物アレルギーが現れることもあるそうです。今後は大人になった食物アレルギーっ子の体験談を聞く場をつくっていくそうです。



助成金情報



公益財団法人 SOMPO 福祉財団

認定 NPO 法人取得資金助成

地域の中核となり、持続的に活動する質の高い NPO 法人づくりを支援します。

対象団体：社会福祉分野で活動し、認定 NPO 法人の取得を計画している特定非営利活動法人

助成額：30万円（総額300万円）

応募締切：10月6日（金）

問合せ：SOMPO 福祉財団

TEL 03-3349-9570 FAX 03-5322-5257



一般財団法人 セブン-イレブン記念財団

環境市民活動助成

地域の環境問題を地域の市民が主体的に解決するために、さまざまな角度から支援します。

対象事業：地域住民が主体的に行う非営利の活動。各助成によって趣旨が異なる。

対象団体：環境活動を行っている国内の NPO 法人、一般社団法人、任意団体（自治会、町内会含む）

助成額：【地域美化助成】上限50万円 応募締切：2023年10月5日（木）

【活動助成】上限100万円 応募締切：2023年10月31日（火）

【NPO 基盤強化助成】上限400万円 応募締切：2023年10月31日（火）

対象期間：2024年4月1日～2025年3月31日

問合せ：セブン-イレブン記念財団 TEL 03-6238-3872 FAX 03-3261-2513

E-mail oubo.24@7midori.org





登録団体からのお知らせ・イベント情報



渡良瀬遊水池を守る利根川流域住民協議会 渡良瀬遊水池の野鳥たち、これから そして今

野鳥を守るための取組みを考えるシンポジウム
日 時：2023年9月24日（日）13：00～16：30
場 所：野木町公民館 第1研修室 第2研修室
内 容：渡良瀬遊水池の野鳥についての講演、
ディスカッション
参加費：無料
問合せ：渡良瀬遊水池を守る利根川流域住民協議会
TEL 0282-23-1078

朗読を楽しむ会 クラリネットの音色にのせて・旅を読む

クラリネット×朗読の旅に出かけませんか？
日 時：2023年10月7日（土）10：00～16：30
場 所：とちぎ岩下の新生姜ホール 小ホール
内 容：旅にまつわる本をクラリネットの演奏と
ともにメンバー16人それぞれが朗読
参加費：無料
問合せ：朗読を楽しむ会
TEL 0282-22-5102

catflix 『教育と愛国』上映会&監督トークセッション

ひとりの記者が見続けた“教育現場”に迫る危機
日 時：2023年9月17日（日）
13：00 上映開始
15：10～16：25 監督トークセッション
場 所：嘉右衛門町伝建地区拠点施設 交流館
内 容：ドキュメンタリー映画の上映と監督との
トークセッション
参加費：1,200円（完全予約制）
問合せ：catflix
catflix.jp@gmail.com

蔵の街うたごえ実行委員会 蔵の街うたごえ喫茶

みんなで一緒に音楽に合わせて歌いましょう♪
日 時：2023年10月1日（日）13：30～15：30
場 所：とちぎ岩下の新生姜ホール 小ホール
内 容：懐かしの名曲を参加者全員で歌う。
参加費：500円（飲み物・歌集代）
定 員：400名
問合せ：蔵の街うたごえ実行委員会
TEL 0282-24-5868

蔵フト麦酒ウォーク実行委員会 蔵フト麦酒ウォーク 2023

『麦処とちぎ』のクラフトビールと美味しいご飯
個性なお店を集めた街歩きの2日間
日 時：2023年9月9日（土）、10日（日）
11：00～17：00
場 所：嘉右衛門町伝建地区周辺
内 容：クラフトビール・フード・雑貨の販売
コンサートなど
問合せ：蔵フト麦酒ウォーク実行委員会
ritsunosuke.kensyokai@gmail.com

渡良瀬遊水池フェスティバル実行委員会 空・水・大地と遊ぶ わたフェス

栃木市と渡良瀬遊水池の魅力を再発見しよう！
日 時：2023年10月8日（日）9：30～15：30
場 所：栃木市 渡良瀬遊水池
子ども広場ゾーン及び谷中湖北ブロック
内 容：レジャーやスポーツの体験など
参加費：催しによって異なる
申込み：熱気球・スカイダイビング・カヤックは
HP から要申込み
【申込締切9月29日（金）】
問合せ：渡良瀬遊水池フェスティバル実行委員会
TEL 0282-62-0919



「水でつながる」流域で考えよう 環境と生態系を大切にするための協働

～森川里湖海をつなぐ琵琶湖流域の協働から～

栃木市は、山・里・街から渡良瀬遊水地までが流域としてまとまり、森林・農地・湿地などの多様な環境と生態系に恵まれた地域です。一方で、流域の環境や暮らしのありようが、水質や地下水の涵養、ごみの流出などにかかわり、渡良瀬遊水地の保全にも影響します。

今回のセミナーでは、琵琶湖環境科学研究センターの佐藤祐一さんにご講演いただきました。滋賀県では、琵琶湖を「生活を映す鏡」「地球環境を見通す窓」と捉えて、2030年の目標であるSDGsと県民の暮らしをつなぐ琵琶湖版SDGs「マザーレイクゴールズ（MLGs）」を行政や市民等の協働で作り、達成に向けた活動と協働が広がっています。「流域で考える」とは、水や物質、動植物、私たちの暮らしの間の「つながり」を把握し、根本原因に立ち戻って方向性を考えることであり、各地域に広がる小さな自然再生の活動を例に、「地域課題にもとづき分かりやすい目標を立てる」「小さな成果を積み重ねる」ことが協働のポイントだと教えてくださいました。

また、渡良瀬遊水地課の職員の方から、治水・利水、希少な動植物と湿地環境を守るためのごみ拾いや外来植物の除去、ヨシの有効活用、プラスチックごみや水害時のごみの流出の問題等について説明いただきました。

今回、講師の佐藤さんとのご縁をつないでくれた、開智未来高校3年生の中嶋陽大さんから、地域版SDGsという市民協働で取り組むべき目標をつくり、ロゴマークと言葉でわかりやすく可視化すれば、その達成に向けた活動と協働が促進されることや、流域の環境や生態系をいかした流域治水の必要性について解説いただきました。



たくさんの方々にご協力いただき、本当にありがとうございました！

参加者の感想から

- ・セミナーの中で“つながり”というのがすごい伝わりました。琵琶湖に行きたくくなりました。
- ・講師の方々のように、自らが受け身ではなく自分事として考え、行動できるようになることが大切と思った。大きなことでなく、小さなこと、ちょっとした意識の持ち方だけでもかわれる気がした。上下関係ではなく共に！一緒に！よりよい市になればGoodです。人を動かすのは結局人であって制度ではないと思った。
- ・協働は計画してやるというより、振り返ればそこにあるもの。自分の関心のないことに理解を示そうとする姿勢がある人が協働できるという言葉が印象的だった。

とちぎ市民活動推進センターくらはとは

ボランティア、NPO、社会貢献活動などの市民活動を推進する拠点です。栃木市をよりよくしようと、さまざまな分野で活動している市民の皆さんの意見交換や交流、情報収集・発信の場として活用されています。



開館時間 月～土 10:00～21:00 日・祝 10:00～17:00

休館日 水曜日・年末年始

〒328-0016 栃木県栃木市入舟町6-8 キョクトウとちぎ蔵の街楽習館内

TEL 0282-20-7131 FAX 0282-20-7132

E-mail kurara-tochigi@cc9.ne.jp

ホームページ <http://www.kurara-tochigi.org>



※くらはは、NPO 法人ハイジが栃木市の委託を受けて管理運営しています

編集後記

9月といえば十五夜ですね。十五夜よりは知名度が低いものの、十三夜や十日夜など10月や11月にも月を見る風習があります。月はいつ見てもきれいですが、十五夜の夜には、じっくりと満月を眺めて過ごしてみるのもいいですね。(大塚)

登録団体数：237団体

会員数：21,869名

(令和5年9月1日時点)